

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●安田記念はインディチャンプが優勝

6月2日(日)に行われた安田記念(G I)ではインディチャンプ(牡4歳/栗東・音無秀孝厩舎)が優勝、G I初挑戦初制覇を果たしました。勝ちタイム1分30秒9は、2012年ストロングリターンが記録した1分31秒3を更新するレースレコードとなります。

●内田博幸騎手がJRA通算1200勝を達成

6月1日(土)の3回東京1日・第7レースではモリトシラユリが1着となり、同馬に騎乗した内田博幸騎手(美浦・フリー)は、史上26人目、現役では14人目となるJRA通算1200勝(1万567戦目)を達成しました。

●福永騎手が1万7000回騎乗、小牧騎手は1万1000回騎乗を達成

6月1日(土)の3回阪神1日・第5レースでラルゲッツェに騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で、史上10人目、現役では8人目となるJRA通算1万7000回騎乗を達成しました。翌2日(日)の3回阪神2日・第7レースでアイファープライスに騎乗した小牧太騎手(栗東・フリー)は、史上31人目、現役19人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

●シルクジャスティスが死亡

6月3日(月)、シルクジャスティス(牡25歳)が老衰のため死亡しました。1996年デビューの同馬は1997年有馬記念(G I)を制するなどJRA通算27戦5勝の成績を残して引退。種牡馬としては中山大障害(J・G I)勝ち馬バシケーンなどを出し、種牡馬からも引退後は北海道新ひだか町の島山牧場に繋養され余生を送っていました。

●武豊騎手が2019ロイヤルアスコットアンバサダーに就任

イギリス・アスコット競馬場にて行われる「ロイヤルアスコット開催」のアンバサダーに武豊騎手(栗東・フリー)が就任しました。本年のロイヤルアスコットは6月18日(火)から22日(土)までの5日間で、プリンスオブウェールズSなど8つのG 1競走を含む19の重賞競走が行われます。武騎手は今後、アンバサダー就任に関するビデオインタビュー出演を予定しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤマニンアンプリメが北海道スプリントC(門別)で重賞初制覇

北海道スプリントC(Jpn III、6月6日、門別、1200m)は、3番手を追走した1番人気のヤマニンアンプリメ(岩田康誠騎手、牝5歳、父シニスターミニスター)が直線入口で抜け出して3馬身差で完勝。8番人気の伏兵メイショウアイアン(北海道)が2着、ノボバカラが3着に入り、逃げた2番人気のシュウジは5着、3番人気のタテヤマは11着に敗れています。

●東京ダービーはヒカリオーツ(川崎)【各地の主要3歳重賞】

東京ダービー(6月5日、大井、2000m)は、2番手から3コーナーで先頭に立った3番人気のヒカリオーツ(牡、父フリオーツ)が、単勝1.3倍で圧倒的人気の羽田盃の覇者ミューチャリーに2馬身差を付け、3度目の重賞制覇を果たしました。北斗盃(5月30日、門別、1600m)は、4番手から直線に入って間もなく先頭に立ったリンゾウチャンネル(牡、父モンテロツ)が3馬身差で快勝、単勝1.5倍の支持に応えています。

●マドラスチェックらが出走、6月12日の関東オークス(川崎)

関東オークス(Jpn II、3歳牝馬、6月12日、川崎、2100m)は、マドラスチェック、ラインカーナ、エリーバラード、ローザノワールの順に有力視されるJRA勢に、トーセンガーネット(浦和)を筆頭とする地方馬が割って入れるかどうか焦点となります。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1英ダービー〜アンソニーヴァンダイクが制す

6月1日にイギリスのエプソム競馬場で行われたG 1英ダービー(3歳牡牝、芝2410m)はアンソニーヴァンダイク(牡、父ガリレオ)がG 1英2000ギニー4着のマッドムーンに半馬身差をつけて優勝しました。アンソニーヴァンダイクは2歳時にG 3タイロスS(芝1420m)とG 2愛フューチュリティS(芝1400m)に優勝。今年は5月11日の英ダービートライアルS(芝2320m)を制していました。鞍上のS.ヘファナン騎手(46歳)はこのレース12回目の騎乗で初勝利。管理するA.オブライエン調教師(アイルランド)は7勝目となり、R.ロブソン調教師(最後の英ダービー優勝は1823年)、J.ポーター調教師(同1899年)、F.ダーリン調教師(同1941年)の持つ最多勝記録に並びました。

●G 1仏ダービー〜ソットサスが2馬身差で快勝

G 1仏ダービー(3歳牡牝、芝2100m)がフランスのシャンティイ競馬場で6月2日に行われ、地元フランスのソットサス(牡、父シユニー)が優勝しました。2馬身差の2着にG 1仏2000ギニーの勝ち馬ベルシアンキング。勝ちタイムの2分02秒90はコースレコードでした。鞍上のC.デムーロ騎手はこのレース2勝目、J.C.ルジェ調教師は4勝目です。